

平成30年産新潟こだわり米栽培基準（実績）

(JA名 えちご上越)

中郷・妙高・矢代特19

項目	実施内容
1. 品 種	コシヒカリBL
2. 土づくり	秋すき込みの実施 有機質資材の投入 みらい有機831等 30kg/10a 苦土重焼燐 20kg/10a
3. は種・育苗	種子消毒：温湯消毒 育苗消毒：カスミン粒剤又は液剤 フェルテラ箱粒剤 ダコニール粉剤又は1000 健苗育苗
4. 施 肥	育苗：①ホーネンス培土 58.8kg/10a ②稚苗苗代配合 630g/10a ③すくすく肥料 840g/10a (上記①～③のどれか一種類を選択使用) ①くみあい液肥2号 10cc/箱 ②べんとう肥 20g/箱 ③硫安 5g/箱 (上記①～③のどれか一種類を選択使用) 元肥：①高度化成444A号 24kg/10a ②新エコマル488 24kg/10a ③ニューさおとめ1号 28kg/10a ④コープペースト222P 28kg/10a (上記①～④のどれか一種類を選択使用) 追肥：越後の輝き 有機50穂肥 17kg/10a または JAチャレンジャー穂肥エコ312 10kg/10a
5. 移 植	稚苗3～4本 60株/坪
6. 除 草	ショキニー（フロアブル・250グラム(豆つぶ)） ヤイバ（1キロ粒剤・豆つぶ・ジャンボ） バサグラン（粒剤・液剤） クリンチャー（粒剤・ジャンボ剤・EW） または、 ショキニー（フロアブル・250グラム(豆つぶ)） ヤイバ（1キロ粒剤・豆つぶ・ジャンボ） クリンチャーバスME液剤
7. 中 耕	6月15日～25日 溝切り、中干しの徹底による生育調整
8. 水 管 理	生育ステージごとの水管理の徹底
9. 病虫害防除	殺虫剤：カメムシ防除 スタークル（粒剤・粉剤DL・液剤10・豆つぶ） 殺菌剤：稲こうじ病 Zボルドー粉剤DL
10. 乾燥・調製	玄米最終水分調整 14.5%～14.9% 網目1.85mm使用

平成30年度特別栽培米栽培基準（実績）

(JA名：JAえちご上越)

新井特19

項目	実施内容
1. 品種	コシヒカリBL
2. 土づくり	秋すき込みの実施 土づくり資材の投入 JAえちご上越ソイル元気 20kg/10a
3. 播種・育苗	種子消毒 温湯消毒 育苗消毒 ダコニール粉剤又は1000、カスミ粒剤又は液剤、フェルテラ箱粒剤 健苗育苗
4. 施肥	育苗【ホーネンス培土(2.8kg/箱) 川西培土(3.0kg/箱) 稚苗苗代配合(30g/箱) すくすく肥料(40g/箱)】 どれか一種類 【くみあい液肥2号(10cc/箱) べんとう肥(20g/箱)】 どれか一種類 元肥【越後の輝き有機50元肥エコ 50kg/10a コープペースト222P 28kg/10a ニュウレバペースト846 40kg/10a】 どれか一種類 追肥 越後の輝き有機50穂肥 15～30kg/10a 一発元肥 JAチャレンジエコロング有機208 50kg/10aまたは 越後の輝き有機50スーパー元肥 50kg/10a 有機 醗酵ケイフン 30～60kg/10a
5. 移植	植付本数 3～4本/株 植付株数 60株/坪程度 稚苗移植 5月15日～25日田植え
6. 除草	初中期一発剤 ウィナー (移植直後～移植後30日まで) 後期除草剤 クリンチャー (ヒエ類)、バサグラン (広葉雑草)
7. 中耕	6月10日～20日 溝切り、中干しの徹底による生育調整
8. 水管理	生育ステージごとの水管理を徹底、特に適期の溝切り・中干しにより 生育調整の徹底をはかる。 早期落水をしない。
9. 病害虫防除	殺虫剤・・・カメムシ防除 スタークル 8月上旬1回 殺菌剤・・・紋枯れ病、墨黒穂病 オリブライト粒剤 7月下旬1回 稲こうじ病 Zボルドー粉剤DL 7月下旬1回
10. 乾燥・調整	玄米最終水分調整 14.5～14.9% ライスグレーダー網目 1.85mm使用 整粒歩合 85%以上 千粒重 22.5g